

科目名	社会人類学						
英語科目		ナンバリング	(https://syllabus.kyoto-su.ac.jp/syllabus_search/#n) を参照				
開講期	秋学期	開講学部等	現代社会学部	配当年次	2 年次	単位数	2 単位
教員名	足立 薫						

授業概要／Course outline

本授業では、社会と文化に焦点をあて「人間とは何か」を自ら考える力を養うことを目指す。文化人類学や民俗学などの隣接分野の成果を参照しつつ、社会人類学の理論的研究とその背景を概観するとともに、フィールドワーク実践のための技術と知識を修得する。とくに地域社会を生活の場から記述するための方法論を詳細に検討し、観察し記録する経験を通して人間についての理解を深化させる。現実の課題に即して、都市、農漁村、サバンナや熱帯林など、様々な環境に生活する人間の社会を実践的に学び、人間社会の特徴を多様な視点で考察する。

授業形態、授業方法等／Course form・type

【授業形態】

対面授業

【授業方法】

講義

・アクティブ・ラーニング授業（形態：ディスカッション、ディベート／グループワーク／プレゼンテーション／実習、フィールドワーク）

2人から4人のグループでプレゼンテーションとディスカッションを中心としたグループワークを行う。フィールドワークの実践および人類学の博物館見学の実習を行う。

授業内容・授業計画／Course description・plan

第1回 社会人類学とは何か

イントロダクションとして、授業の概要、スケジュールなどを説明する。

人間の社会や文化、制度の多様性に、人類学の手法を用いてアプローチすることによって、普遍的な人間社会の特質を明らかにすることを理解する。

第2回 社会構造

社会構造は社会人類学や社会学において、非常に重要な概念である。社会や文化の基礎となる普遍的な構造概念を理解するとともに、動物社会学における社会構造についても考察する。

第3回 交換と互酬性

社会の個人や集団の間で、さまざまなモノをやりとりする社会関係に注目する。M. モースの贈与論から出発し、交換や互酬性の原理と社会の成り立ちを論じる。食物分配や平等主義などについて検討する。

第4回 互酬性と親族

親族の多様性について、現代社会における親族・家族概念とも比較しながら理解する。異なる親族体系のもとでの、社会関係の在り方について理解する。

第5回 出自と結婚

出自集団によって社会が形成される様態を紹介する。集団と集団間の関係を維持するときに、結婚の果たす役割について考察する。

第6回 社会統制

さまざまな社会統制の在り方を概観する。親族組織との理念的な結びつきや、生活実践における流動性についても検討する。

第7回 儀礼と社会

V. ターナーのコミュニタス論を手がかりに、儀礼と社会集団の成り立ちの原理を検討する。多様な文化における通過儀礼を考察する。

第8回 中間まとめ・プレゼンテーション

グループワークでこれまでの内容を振り返り、問題点の整理と確認を行う。指定された課題について、プレゼンテーションを行いグループで検討する。

第9回 フィールドワーク

世界各地のさまざまな社会に入り込んで、フィールドワークを行う人類学者の手法について検討する。参与観察に

代表されるフィールドワークの事例を分析し、人類学の研究史とともに概観する。

第10回 民族誌

民族誌（エスノグラフィー）は狭義には、フィールドワークの結果をもとに対象社会を質的に記述することといえる。記述をめぐっては、さまざまな理論背景の変遷がみられる。また、近年、人類学にとどまらず、医療、経営、IT、ジャーナリズムなど、さまざまな領域で応用されている民族誌の現状についても注目する。

第11回 生業と社会構造（1）

生業は人間社会の在り方に、強い影響を与える。自然環境で生き抜く活動を通して、他者と相互作用する行為を詳細に検討し、生業と社会構造の関係を考える。

第1回は、人類進化のもっとも早い段階に現れたと考えられている、狩猟採集社会を取り上げる。

第12回 生業と社会構造（2）

第2回は農耕と牧畜の社会を取り上げ、生業における在来知の役割や、自然環境との関わりと社会の関係を考察する。

第13回 市場と都市の民族誌

人類学の対象は、エキゾティックな辺境・少数民族の異文化だけではなく、グローバルな資本主義に組み込まれた、現代的で身近な社会も含まれる。ストリート文化や市場（マーケット）の事例から社会の特徴について考える。

第14回 期末まとめ・プレゼンテーション

グループワークでこれまでの内容を振り返り、問題点の整理と確認を行う。指定された課題について、プレゼンテーションを行いグループで検討する。

第15回【フィールドワーク実習】

オンデマンド授業の代替として、2027年1月19日に国立民族学博物館（吹田市）の展示見学を実施。場所と日時ともに予定であり、詳細はなるべく早く決定してMoodleにて告知する。

事前・事後学修／Preparation and assignments

90分の授業1回あたり180分の事前・事後学修を必要とする。Moodleなどを活用して事前・事後学修を指示する。毎回の授業プリントは必ず事前に確認し、プリントで指示されている事前学習を完了してから授業に臨むことが求められる。

第1回 社会人類学とは何か

〔事前学習〕シラバスをよく読んでおく。

〔事後学習〕配付したプリントを復習し、指示された課題についてノートを作成する。

第2回 社会構造

〔事前学習〕Moodleで第2回プリントを読んで、ノートを作成する。

〔事後学習〕配付したプリントを復習し、指示された課題についてノートを作成する。

第3回 交換と互酬性

〔事前学習〕Moodleで第3回プリントを読んで、ノートを作成する。

〔事後学習〕配付したプリントを復習し、指示された課題についてノートを作成する。

第4回 互酬性と親族

〔事前学習〕Moodleで第4回プリントを読んで、ノートを作成する。

〔事後学習〕配付したプリントを復習し、指示された課題についてノートを作成する。

第5回 出自と結婚

〔事前学習〕Moodleで第5回プリントを読んで、ノートを作成する。

〔事後学習〕配付したプリントを復習し、指示された課題についてノートを作成する。

第6回 社会統制

〔事前学習〕Moodleで第6回プリントを読んで、ノートを作成する。

〔事後学習〕配付したプリントを復習し、指示された課題についてノートを作成する。

第7回 儀礼と社会

〔事前学習〕Moodleで第7回プリントを読んで、ノートを作成する。

〔事後学習〕配付したプリントを復習し、指示された課題についてノートを作成する。

第8回 中間まとめ

- 〔事前学習〕講義中に指示のあったトピックについて、発表の準備をする
- 〔事後学習〕発表・ディスカッションの結果について、ノートを作成する。

第9回 フィールドワーク

- 〔事前学習〕Moodleで第9回プリントを読んで、ノートを作成する。
- 〔事後学習〕配付したプリントを復習し、指示された課題についてノートを作成する。

第10回 民族誌

- 〔事前学習〕Moodleで第10回プリントを読んで、ノートを作成する。
- 〔事後学習〕配付したプリントを復習し、指示された課題についてノートを作成する。

第11回 生業と社会構造（１）

- 〔事前学習〕Moodleで第11回プリントを読んで、ノートを作成する。
- 〔事後学習〕配付したプリントを復習し、身近な民族誌研究事例についてノートを作成する。

第12回 生業と社会構造（２）

- 〔事前学習〕Moodleで第12回プリントを読んで、ノートを作成する。
- 〔事後学習〕配付したプリントを復習し、指示された課題についてノートを作成する。

第13回 市場と都市の民族誌

- 〔事前学習〕Moodleで第13回プリントを読んで、ノートを作成する。
- 〔事後学習〕配付したプリントを復習し、指示された課題についてノートを作成する。

第14回 期末まとめ・プレゼンテーション

- 〔事前学習〕講義中に指示のあったトピックについて、発表の準備をする。
- 〔事後学習〕発表・ディスカッションの結果について、ノートを作成する。

第15回【フィールドワーク実習】

- 〔事前〕フィールドワークの実施計画を作成する。
- 〔事後〕フィールドワークの振り返りとまとめを作成する。

授業の到達目標／Expected outcome

世界のさまざまな人々の社会や文化を知り、その多様性を理解すること。異質な文化を受容した上で、人間の普遍的な社会性にアプローチしようとする姿勢が重要となる（思考力、社会学をはじめとする社会科学の応用知識）。フィールドワークや民族誌的手法の有用性を理解し、その問題点を指摘することができる（思考力、社会学をはじめとする社会科学の応用知識、社会学をはじめとする社会科学における基盤的技能）。授業でのディスカッションに積極的に参加し、異文化を理解して他者の立場に立ち、当事者の視点を通して、批判的に現実の課題を発見・分析する能力を身に付けることが目標である（思考力、主体性、協働性・協調性、社会学をはじめとする社会科学の応用知識、社会学をはじめとする社会科学における基盤的技能）。

身につく資質・能力／Competencies to be attained

- | | |
|-----------|---------------------------|
| ・ 思考力 | 専門知識・専門技能 |
| ・ 主体性 | 【現代社会学部 現代社会学科】 |
| ・ 協働性・協調性 | ・ 社会学をはじめとする社会科学の応用知識 |
| | ・ 社会学をはじめとする社会科学における基盤的技能 |

履修上の注意／Special notes, cautions

受講にあたって予備知識は必要としないが、与えられた情報をもとに主体的に考える努力が要求される。そのため、事前学習を必ず行ったうえで出席すること。

授業プリントの配布、および課題の提示・提出はMoodleを利用するため、かならず利用できるように準備し、期間中はよく確認すること。

アカデミック・インテグリティ（学術的誠実性）の原則を尊重する。盗用や剽窃などに対しては厳しく対処する（個別課題に学生どうして協働で取り組むこと、レポート作成の代行、生成AIの出力を無断で利用したライティング、他人の著作物から出典を明示せず逐語的または書き直して提示すること、などを含む）。また、講義中の無関係な電子機器の使用にも厳しく対処する。

評価方法／Evaluation

期末レポート（思考力、社会学をはじめとする社会科学の応用知識、社会学をはじめとする社会科学における基盤的技能） 20%

プレゼンテーションと事後ディスカッション（思考力、協働性・協調性、社会学をはじめとする社会科学の応用知識、社会学をはじめとする社会科学における基盤的技能） 30%

小レポート課題（思考力、社会学をはじめとする社会科学の応用知識、社会学をはじめとする社会科学における基盤的技能） 30%

シャトルカード/ノート（授業中に配布するもの）（思考力、主体性、社会学をはじめとする社会科学の応用知識、社会学をはじめとする社会科学における基盤的技能） 20%

各種レポートは、授業内またはMoodleで、クラス全体に向けて適宜フィードバックを行う。

教 材／Text and materials

教 材／Text and materials

教科書は用いない。プリントを配付するので、常に持参して出席すること。

参考図書は、授業中に指示する。

その他／Others

授業に関する質問・相談は授業前後やメール、Teamsのチャットでも受け付ける。

オフィスアワー：木曜2限

メールアドレスはMoodleを参照

これ以外にも事前に連絡の上、オンラインまたは対面で質問対応を随時実施する。